参考１

気候市民会議さっぽろ2025

意見提案書

～”温室効果ガス排出量実質ゼロ”の札幌に向けて～

2025年3月

目次

1. 気候市民会議さっぽろ2025の概要 ……P3

2. 意見提案のまとめ方 ……P8

3.「住まい」に関する意見提案 …… P10

4.「移動」に関する意見提案 …… P20

5. プロジェクトの提案 …… P31

6. 参考資料 …… P44

1. 気候市民会議さっぽろ2025の概要

(1)気候市民会議さっぽろ2025とは？

- 「気候市民会議」とは、無作為に抽出された市民が、専門家から提供される情報をもとに対話と検討を重ねて、「気候変動対策」をまとめ、市に意見提案を行うものです。
- 「気候市民会議さっぽろ2025」では、札幌市が2050年までに「温室効果ガス排出量実質ゼロ」を実現するために、取り組むべきアイデアについて話し合いを行い、札幌市に意見提案を行いました。

（2）実施体制

- 気候市民会議さっぽろ2025は以下の体制で実施しました。

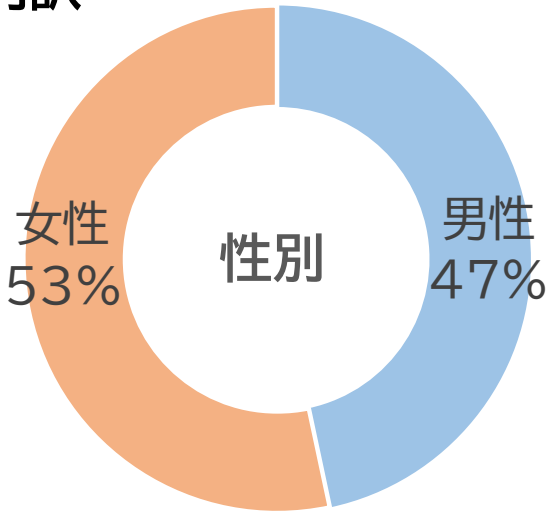
参加者	無作為に抽出された39名の札幌市民
主催	札幌市
講師	地方独立行政法人　北海道立総合研究機構　阿部　佑平様 岡村　篤様
会議運営	株式会社ドーコン
協力	第13次札幌市環境審議会　会長　山中　康裕　様 （北海道大学大学院　環境科学院教授）

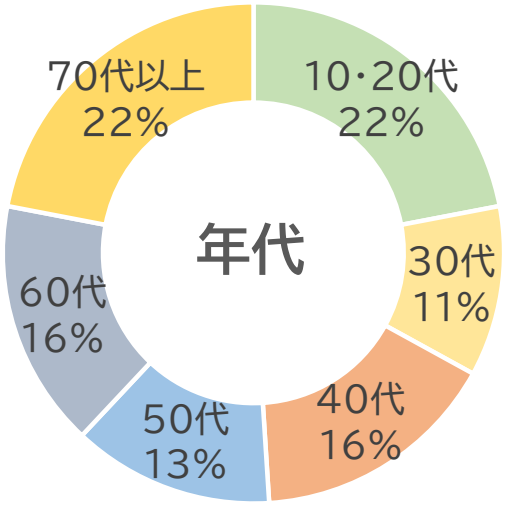
(3)参加者の選出

- 16歳以上の札幌市民3,000名を無作為に抽出し、参加案内を送付しました。
- 参加を希望いただいた114名から、年齢や性別のバランス考慮して45名を選出し、実際に39名の方に参加いただきました。

16歳以上の札幌市民	応募者	選出者	参加者
3,000名（無作為抽出）	114名	45名（年齢・性別のバランスを考慮）	39名

● **選出者の内訳**





(4)開催日程と各回のテーマ

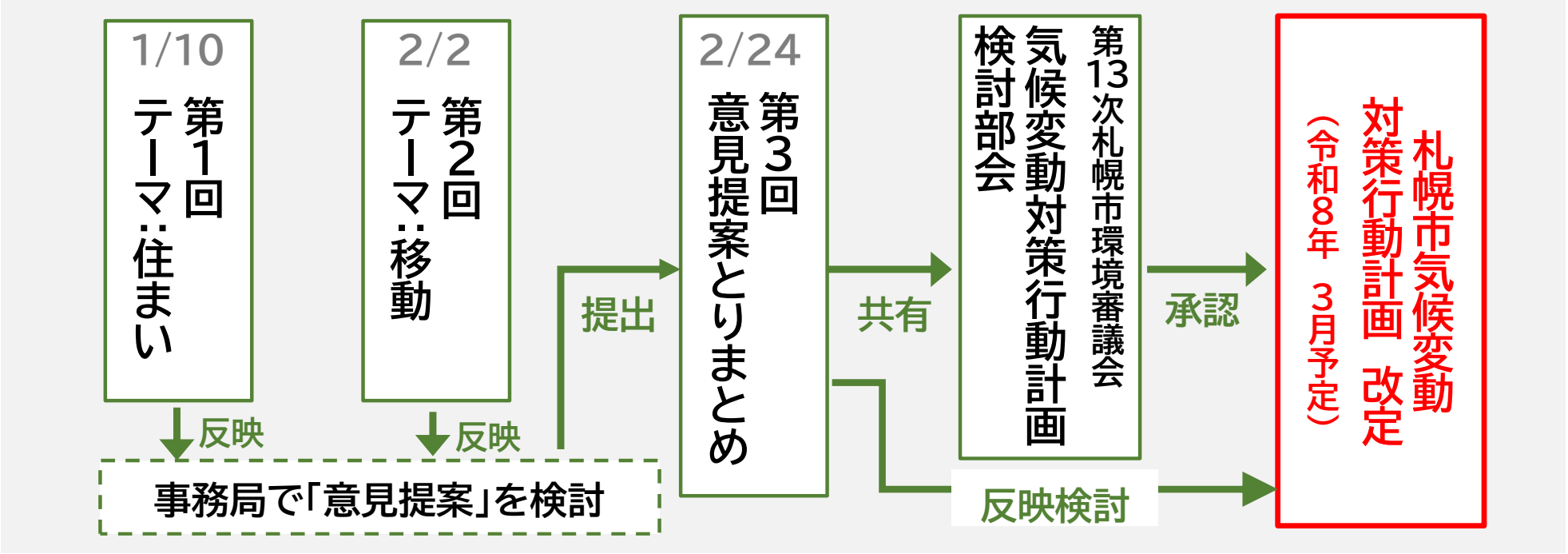
- 本会議では、札幌市の気候変動対策上の主要課題として、市民活動を支える「住まい」と「移動」をテーマとして取り上げました。
- 第１回・第２回の会議では、各テーマについて、札幌市からは市の取組や考え方を、講師からは課題解決に向けた枠組みや事例などをご紹介いただいたうえで、参加者同士の意見交換を実施しました。
- 第３回の会議では、意見交換の結果を意見提案として取りまとめました。

回	開催日	テーマ
第1回	2025年 1月10日	“住宅の省エネ化”と ”住宅における再生可能エネルギー活用”等について
第2回	2025年 2月2日	“自動車の脱炭素化”と”公共交通機関の利用促進や脱炭素化”等について
第3回	2025年 2月24日	意見提案のとりまとめ

(5)意見提案の作成プロセス

- １・２回目の会議では、テーマに沿った取組のアイデアを検討しました。
- ３回目の会議では、１、２回目の会議を踏まえ事務局で作成した「意見提案書(案)」をもとに、より良い内容とするための検討を行いました。
- 本会議でとりまとめた意見提案は「第13次札幌市環境審議会　気候変動対策行動計画検討部会」の中で共有し、「札幌市気候変動対策行動計画」改定への反映を検討します。

● 意見提案の作成プロセス



2. 意見提案のまとめ方

- 各回で参加者に取組のアイデアを出していただくうえでは、あらかじめ事務局で考えていただきたい分野を提示しました。
- さらに取組を推進するうえで、市民／事業者／札幌市（または北海道や国）の誰が担い手となるべきか、合わせて検討しました。

● 事前に提示した意見交換の枠組み

テーマ	分野	取組の担い手
第1回 「住まい」	①新築住宅 ②既存住宅 ③民間賃貸住宅 ④行動変容	①市民 ②事業者 ③札幌市(または北海道や国)
第2回 「移動」	①自家用車の脱炭素化 ②公共交通 ③行動変容	①市民 ②事業者 ③札幌市(または北海道や国)

2. 意見提案のまとめ方

- 参加者から「住まい」について173の取組アイデアを、「移動」については206の取組アイデアが出されました。
- これらの取組アイデアについて、事務局で重複するものや類似するものをまとめ、意見提案という形で再整理を行いました。
- 更に、意見提案の中で特に重要だと思うものを選定し、内容を更に深堀する形で11のプロジェクトを提案します。

3.「住まい」に関する意見提案

- 取組の分野ごとに再整理した41の意見提案の内容は以下の通りです。

新築住宅

①補助金制度の拡充や改善
②減税制度の導入
③再エネ導入の推進（太陽光、水素等）
④太陽光発電についての情報発信
⑤太陽光パネルの技術開発
⑥防災対策への支援
⑦安心・信頼できる事業者の紹介
⑧オール電化の推進
⑨住宅設備の技術開発の推進

既存住宅

⑩既存住宅の活用
⑪リフォームに対する支援
⑫リフォームの工夫
⑬電化製品の交換への支援
⑭公営住宅等における設備導入
⑮暖房・給湯機器のエネルギー変換

民間賃貸住宅

⑯民間賃貸住宅の省エネ設備導入支援
⑰入居者やオーナーへのインセンティブ
⑱断熱性能の向上
⑲入居者への普及啓発
⑳壁面への太陽光パネルの設置
㉑マンション全体での理解促進
㉒賃貸住宅についての情報発信強化

行動変容・その他

㉓補助制度についての情報発信強化
㉔情報発信媒体の工夫
㉕省エネ行動の見える化
㉖省エネ行動の義務化
㉗省エネに対するインセンティブ
㉘学校等における環境教育の充実
㉙住まい方に関する意識の改善
㉚消費電力の削減
㉛暖房に係るエネルギーの削減
㉜ごみの削減
㉝リモートワークの是非の検討
㉞車利用の抑制、公共交通の利用
㉟EV車等の導入促進
㊱環境への配慮
㊲先進事例の調査
㊳熱対策・冷却の実施
㊴まち全体を考える
㊵無責任な取り組みは止めるべき
㊶原子力発電の推進

3.「住まい」に関する意見提案

(1)新築住宅について

- 参加者から頂いた取組アイデアおよび取組の担い手は以下の通りです。

意見提案	アイデア数	取組アイデア(一部抜粋)	取組の担い手		
			市民	事業者	札幌市
①補助金制度の拡充や改善	9	太陽光発電設備のコストや耐用年数を一般の人に分かり易くして、交換時に補助してはどうか			○
		助成金の利用までにかかる時間が長い(リフォームなど)			○
		エコに取り組もうにも導入コストがハードルとなる。助成が必要。			○
②減税制度の導入	3	一定条件を満たせば固定資産税を減税する制度の導入			○
		省エネ減税の導入(エコカー減税のような)			○
		減税(エコ減税)を。			○
③再エネ導入の推進(太陽光、水素等)	7	都市ガスを水素ガスへ切り替える。		○	
		再エネ機器、太陽光発電の貸し出し契約を広める			○
		(ソーラー発電だけでなく)小風力発電や小水力発電の機器開発と住宅への導入を。		○	
④太陽光発電についての情報発信	6	太陽光発電設置増加を強化するためにCMやSNSの周知をUPさせる		○	
		太陽光パネルの安全性をアピールする			○
		共同住宅で個別にパネルを導入することは可能なのか。		○	○
⑤太陽光パネルの技術開発 ⇒プロジェクトⅠ	3	屋根上の雪を融かす暖房とソーラーパネルが共存できると北海道でも使いやすくなる		○	
		興味はあるが、もっとデザインのいいものがあれば嬉しい。		○	
		冬の間太陽光発電で賄えない分の電気をどうするのかわからない。			○

3.「住まい」に関する意見提案

(1)新築住宅について

- 参加者から頂いた取組アイデアおよび取組の担い手は以下の通りです。

意見提案	アイデア数	取組アイデア(一部抜粋)	取組の担い手		
			市民	事業者	札幌市
⑥防災対策への支援	2	災害時の備えにゼロエネルギーを手軽に導入できるような制度が欲しい。	○	○	○
		太陽光＋蓄電池のセットで災害時対応			○
⑦安心・信頼できる事業者の紹介	7	断熱改修等、どこに相談したらよいのか、どこから情報を得られるのかわからない～いきなり札幌市に行くのはハードルが高い		○	○
		信頼できる業者・メーカーとのマッチング制度が欲しい。			○
		(補助金について)住宅業者の意見も聞きたいです。		○	
⑧オール電化の推進	2	オール電化にしたいけど電気代が高すぎる。		○	
		オール電化を進める。電力会社の価格の見直し・電力料金の引き下げが必要。		○	
⑨住宅設備の技術開発の推進	7	特殊な外壁(ヒートテック:蓄熱・発熱)		○	
		ペアガラス対応で高断熱の窓があるのか知りたい。		○	
		エコかつ快適なものをメーカーに作ってほしい。		○	

(2)既存住宅について

- 参加者から頂いた取組アイデアおよび取組の担い手は以下の通りです。

意見提案	アイデア数	取組アイデア(一部抜粋)	取組の担い手		
			市民	事業者	札幌市
⑩既存住宅の活用	4	家を新築するよりもまずは中古住宅の改築を検討する	○		
		空き家の購入とリフォームに対する補助の充実。			○
		既存住宅(戸建て)における“省エネ化に手間がかかる”という(リニューアルの)イメージを変えていきたい		○	○
⑪リフォームに対する支援 ⇒プロジェクトⅡ・Ⅲ	5	1980年代に建設された一般住宅の(老朽化と耐震)改修が必要。	○		○
		リフォーム全体にもっと行政の支援が必要(ではないか)			○
		戸建の外壁改修に補助金			○
⑫リフォームの工夫	4	エコリフォームを進めるべき。	○	○	
		アルミサッシの樹脂サッシ化。	○	○	
		寒くなりがちな風呂場を中心にレイアウトするなど間取りの改修。	○	○	
⑬電化製品の交換への支援	2	住んで45年になり、すべてが古い電化製品になる中、エコ(な製品に)取り替えたい。	○		
		給湯機器を変更するにはお金がかかりすぎる	○		
⑭公営住宅等における設備導入	1	UR団地などの大規模住宅群で新しいシステム(水素発電など)を採用する。		○	○
⑮暖房・給湯機器のエネルギー変換	3	暖房・給湯機器の変換(電気→ガス)		○	○
		パネルヒーター更新時にエネルギー源を変える	○		
		機器によっては寿命が短い～耐久性も大事		○	

(3)民間賃貸住宅について

- 参加者から頂いた取組アイデアおよび取組の担い手は以下の通りです。

意見提案	アイデア数	取組アイデア(一部抜粋)	取組の担い手		
			市民	事業者	札幌市
⑯民間賃貸住宅の省エネ設備導入支援	3	民間賃貸住宅の照明のLED化に補助してほしい		○	○
		民間賃貸住宅へ積極的に断熱性の高いものにするよう行政から指導、補助をする		○	○
		民間賃貸住宅へ太陽光発電施設を設置させ、CO2を削減させる		○	○
⑰入居者やオーナーへのインセンティブ	3	賃貸住宅オーナーへのインセンティブを導入する		○	○
		省エネ性能の高い賃貸住宅の家賃補助			○
		脱炭素住宅への家賃補助みたいなものが欲しい。			○
⑱断熱性能の向上	3	性能の高い窓へのリフォーム(特に、賃貸共同住宅)		○	
		省エネ意識の啓発(が必要)		○	
		気密性が高い反面、湿気が気になる。	○		
⑲入居者への普及啓発	4	賃貸住宅でも個人が行うことができる断熱対応などがあれば周知する		○	○
		照明を人感センサー付きにすることで削減できた。		○	
		賃貸の場合、月々の光熱費が分からないため、家賃＋光熱費といったランニングコストを知りたい。		○	
⑳壁面への太陽光パネルの設置	2	賃貸住宅の壁にも太陽光パネルを設置する		○	
		太陽光パネルの色を壁と同色にする		○	

（3）民間賃貸住宅について

- 参加者から頂いた取組アイデアおよび取組の担い手は以下の通りです。

意見提案	アイデア数	取組アイデア（一部抜粋）	取組の担い手		
			市民	事業者	札幌市
㉑マンション全体での理解促進	4	マンション省エネコンサルタントをもっとお知らせする		○	○
		集合住宅では個別にエネファーム導入ができなかった		○	
		旧型設置者にも改修の機会、理解を		○	
㉒賃貸住宅についての情報発信強化	4	賃貸共同住宅を選ぶ際のポイントとして、条件を充足した物件を公表する		○	○
		オール電化になったとしても費用が抑えられるのであればもっと普及するはず		○	○
		スーモなどの検索サイトに建設業者名を掲載する		○	

(4)行動変容・その他について

- 参加者から頂いた取組アイデアおよび取組の担い手は以下の通りです。

意見提案	アイデア数	取組アイデア(一部抜粋)	取組の担い手		
			市民	事業者	札幌市
㉓補助制度についての情報発信強化 ⇒プロジェクトⅣ	12	札幌市や北海道の省エネ住宅の補助金の仕組みについて、建築業者や設計士等の専門業者にもっと浸透させる		○	○
		“断熱すると月々の光熱費が下がってお得！”といったアピールが必要か。		○	○
		補助制度や助成について情報を取りに行かなくてはならない。圧倒的に市民へ届いていない。			○
㉔情報発信媒体の工夫	5	広報は大事。何回も掲載すると1回ぐらいは目にする機会ができる			○
		LINEの札幌広報をもっと活用する			○
		図書館等で入手できるようにする			○
㉕省エネ行動の見える化 ⇒プロジェクトⅤ	6	省エネした分を見える化する	○	○	○
		家庭内でどのような行動をすればどれだけのCO_2が削減されるか、チェックリストを作る			○
		CO_2排出量を把握したい。	○		○
㉖省エネ行動の義務化	1	自主性に任せての達成は難しいので義務化も検討する			○
㉗省エネに対するインセンティブ	4	省エネした分をポイント化して利用できるようにする	○	○	○
		アプリを使った省エネのポイント制度を導入する			○
		使用エネルギーを削減できたら事業者がポイントを		○	

(4)行動変容・その他について

- 参加者から頂いた取組アイデアおよび取組の担い手は以下の通りです。

意見提案	アイデア数	取組アイデア(一部抜粋)	取組の担い手		
			市民	事業者	札幌市
㉘学校等における環境教育の充実	6	環境イベントやセミナーの開催	○	○	○
		学校教育で省エネの癖をつける			○
		(小中学生よりももっと)小さい頃からエコ教育を行う必要がある。	○		○
㉙住まい方に関する意識の改善	7	建てて終わりではなく、取り組みを継続すること	○		
		積極的な公共施設の活用	○		
		エコな住まい方をしたい。	○		
㉚消費電力の削減	11	省エネの為に無駄な電気をこまめに消すこと	○		
		冷蔵庫に物を詰めすぎない	○		
		真空保温調理器を使い、IHの使用量を減らす	○		
㉛暖房に係るエネルギーの削減	7	灯油の使用を減らすための代替案を検討するべき	○		
		家族が同じ空間で過ごす時間を増やす	○		
		冬は室内で厚着する。北海道は冬季の室内温度設定が高い。	○		

(4)行動変容・その他について

- 参加者から頂いた取組アイデアおよび取組の担い手は以下の通りです。

意見提案	アイデア数	取組アイデア(一部抜粋)	取組の担い手		
			市民	事業者	札幌市
㉜ごみの削減	2	ゴミを削減する	○		
		ゴミを出さない	○		
㉝リモートワークの是非の検討	3	リモートワークは推進すべきか。	○	○	
		リモートワークが増えると家庭の光熱費はあがる。	○	○	
		夏は出社したい。	○		
㉞車利用の抑制、公共交通の利用	2	車通勤を避ける。(課税するとか)	○		○
		車は使わず公共の乗り物に乗ってます	○		
㉟EV車等の導入促進	2	ガソリンを使わない自動車の一般普及を進めて脱炭素化に繋げる。	○		
		ハイブリッドカーを購入したが、暖機運転できないため寒いまま出勤している。	○	○	
㊱環境への配慮	3	ある日突然山の中に木を倒し切り開いて太陽光パネルが現れるような自然を壊してのエネルギーに疑問		○	○
		泊原発が稼働していない現在でもなんとかCO2排出量は減っているので、まずは省エネを中心に電力の消費を抑えるべき	○	○	○
		太陽光パネル設置ではなく植樹を増やす			○

(4)行動変容・その他について

- 参加者から頂いた取組アイデアおよび取組の担い手は以下の通りです。

意見提案	アイデア数	取組アイデア(一部抜粋)	取組の担い手		
			市民	事業者	札幌市
㊲先進事例の調査	1	脱炭素化が進んでいる都市(国内・海外)を参考にしてはどうか。			○
㊳熱対策・冷却の実施	3	打ち水をして温度を下げる。埼玉県熊谷市のイベントのように。	○	○	
		屋上の緑化(畑など)をしたら、温度が下がるかも。	○	○	
		雪をうまく利用できないものか。	○	○	○
㊴まち全体を考える	5	森林のCO2吸収量はどのように増加するのか。それ以外の対策はないのか。			○
		サーマルリサイクルの概念も必要	○		○
		自治体である程度制限することが大切では。(LEDしか製造してはいけないみたいに)			○
㊵無責任な取り組みは止めるべき	2	太陽光パネルのリサイクルや廃棄の問題を考えずに、安価という理由だけで推進するのは如何なものか。		○	○
		グリーンウォッシング(うわべだけの環境対策)をやめる。	○	○	○
㊶原子力発電の推進	3	(北電に対して)原発再稼働を。			○
		泊原発1・2・3号機の稼働で年間100万トンほどのCO2削減が可能。			○
		核融合。新しい技術の開発に国は取り組むべき。			○

4.「移動」に関する意見提案

- 取組の分野ごとに再整理した43の意見提案の内容は以下の通りです。

自家用車

①次世代自動車への税負担等を減らす
②ガソリン車の税負担等を増やす
③電気自動車の利用を促進する環境づくり
④電気自動車の充電設備の充実
⑤電気自動車についての情報発信の強化
⑥電気自動車の性能向上
⑦電気自動車の選択肢を増やす
⑧電気自動車のバッテリー性能の向上
⑨事業用自動車の脱炭素化
⑩公共交通等の車両の脱炭素化
⑪レンタカーの脱炭素化
⑫EVはエコなのか
⑬水素自動車

自転車

⑭レンタサイクルの充実
⑮駐輪場を増やす
⑯冬の自転車利用の検討
⑰自転車購入の支援
⑱自転車の走行環境の向上

※自転車について多数のアイデアを頂いたため、新たに分野を追加しました。

公共交通

⑲地下鉄路線の拡充
⑳地下鉄ダイヤの改善
㉑地下鉄運賃の値下げ・補助
㉒地下鉄利用を快適に
㉓バスの増便
㉔バスの運行方法見直し
㉕バス運賃の値下げによる利用促進
㉖バス利用を快適に
㉗バス事業者の収支改善策の検討
㉘観光客の利用促進
㉙バスの新たな活用方法の検討
㉚バス運転手・担い手の確保
㉛バスの自動運転化
㉜デマンド交通の導入

行動変容

㉝歩いてみたいと思える環境づくり
㉞冬の歩行空間の改善
㉟車を利用しない仕組みづくり
㊱ライフスタイルを変える
㊲免許返納後の支援
㊳ｶｰｼｪｱﾘﾝｸﾞ・相乗りサービスの推進
㊴公共交通を利用したくなる仕組みづくり
㊵買物やイベント時の公共交通利用促進
㊶公共交通利用促進に向けた情報発信
㊷まちなかを公共交通専用区域に
㊸まちなかの魅力向上

4.「移動」に関する意見提案

(1)自家用車について

- 参加者から頂いた取組アイデアおよび取組の担い手は以下の通りです。

意見提案	アイデア数	取組アイデア(一部抜粋)	取組の担い手		
			市民	事業者	札幌市
①次世代自動車への税負担等を減らす	4	ガソリン車からRV・FCVへの買い替えで更なる補助金を出す	○	○	○
		次世代自動車への車税を減らす。ゼロエミッション自動車はさらに	○		○
		EV車の補助金を増額する			○
②ガソリン車への税負担額等を増やす	5	ガソリンの補助金をやめることで自ずと電気化するのでは		○	○
		中古車価格を上昇させ、中古車店を縮小させる		○	○
		ガソリン車の車税や価格を上げる			○
③電気自動車の利用を促進する環境づくり	3	電気自動車レンタル	○		○
		電気自動車営業チーム	○	○	
		電気自動車用の駐車場を増やす		○	○
④電気自動車の充電設備の充実	5	電気自動車の充電スタンドをセコマに必ず作る		○	○
		地域ごとに水素エンジンと太陽光で発電→EVステーション　地域住民への電力供給		○	○
		太陽光発電だけではなく小型の風力発電設備を設置し、そこにEVステーションを建てる。		○	
⑤電気自動車についての情報発信の強化	5	ハイブリッド車、電気自動車の効率や補助の有無のPR不足			○
		EV・FCVへの補助をもっとPRする			○
		電気自動車とガソリン車の違いをより詳しく。(環境にやさしいとかではなく、実用性について)		○	○

4.「移動」に関する意見提案

(1)自家用車について

- 参加者から頂いた取組アイデアおよび取組の担い手は以下の通りです。

意見提案	アイデア数	取組アイデア(一部抜粋)	取組の担い手		
			市民	事業者	札幌市
⑥電気自動車の性能向上	3	次世代自動車の走行距離性能や寒冷地対応等性能向上		○	
		EVの車種をガソリン車ぐらいに増やす		○	
		製造、輸送、廃棄までを含む車のライフサイクル全体を考える		○	○
⑦電気自動車の選択肢を増やす	5	4WD車のEV車両の充実		○	
		買い物、病院など近くの移動用の小型(2人乗り)の開発		○	○
		環境に良いけどガソリン車らしい乗り心地の車		○	○
⑧EV車のバッテリー性能の向上	6	EVの普及のため、携帯のモバイルバッテリーのようなバッテリーの開発		○	
		EVのバッテリーを電池のようにすぐ交換できるようにする		○	
		冬期間のバッテリーの問題。寒冷地に強いバッテリーが必要。		○	○
⑨事業用自動車の脱炭素化 ⇒プロジェクトVI	2	社用車を電気自動車に転換(送迎車両、配達、営業等)		○	
		社用車をハイブリッド化するといいことがあるようにする		○	
⑩公共交通等の車両の脱炭素化	5	病院の送迎バスをEV・FCVに換える		○	○
		身体の不自由な人はタクシーに乗るので電気自動車にし、料金を安くする		○	○
		バスのハイブリッド化を進める。		○	

4.「移動」に関する意見提案

(1)自家用車について

- 参加者から頂いた取組アイデアおよび取組の担い手は以下の通りです。

意見提案	アイデア数	取組アイデア(一部抜粋)	取組の担い手		
			市民	事業者	札幌市
⑪レンタカーの脱炭素化	4	カーシェアリング用(TIMES等)の車やレンタカーのEV・FCV化		○	○
		Timesなど街中レンタルの電気自動車化を強制とする。(シェアカーのサービス充実とともに)		○	○
		レンタカーでEVを増やす。料金を安く設定。観光客向け。		○	○
⑫EVはエコなのか ⇒プロジェクトⅦ	7	EV車の製造時のCO2排出量はガソリン車の2倍との説もある。		○	○
		バッテリーの原材料であるマンガンやコバルトの産出は、発展途上国での劣悪な労働環境のうえで成り立っている。人権侵害や児童労働、環境破壊が生じている。		○	
		中国が製造するEVを欧州は規制する方向となった。中国産EVはアジアへと市場を求め、日本にも向かう。つまり、EV補助金は国内自動車メーカーや国内産業を悪化させてしまうことになる。		○	
⑬水素自動車	1	水素自動車は良く分からない。安全・安心なのか。	○		

4.「移動」に関する意見提案

(2)自転車について

- 参加者から頂いた取組アイデアおよび取組の担い手は以下の通りです。

意見提案	アイデア数	取組アイデア(一部抜粋)	取組の担い手		
			市民	事業者	札幌市
⑭レンタサイクルの充実	6	ポロクル身近で見たことないのでエリアを増やす		○	
		ポロクルを住宅地にスタンド拠点増す		○	
		ポロクルは市中心部で多いが、もっと郊外へ増設すべき。もともと歩いている方を自転車利用させるのではなく、車を使っている方を自転車利用させるべき。		○	○
⑮駐輪場を増やす	4	駐輪場が少ない		○	
		コインパーキングを駐輪場に	○	○	○
		地下鉄入口付近のスペースは冬:コインパーキング　冬以外:駐輪場	○	○	○
⑯冬の自転車利用の検討	3	駐輪場が使いにくい		○	○
		雪道に強い自転車		○	
		冬に自転車に乗るべきか	○		
⑰自転車購入の支援	2	自動車から自転車利用への補助(利用の拡充)			○
		自転車購入補助金			○
⑱自転車の走行環境の向上 ⇒プロジェクトⅧ、Ⅸ	5	自転車用の地下トンネル			○
		自転車通行帯に駐停車があって自転車走行できない。禁止の徹底が必要。	○	○	○
		自転車が走りやすい道路にする			○

4.「移動」に関する意見提案

(3)公共交通について

- 参加者から頂いた取組アイデアおよび取組の担い手は以下の通りです。

意見提案	アイデア数	取組アイデア(一部抜粋)	取組の担い手		
			市民	事業者	札幌市
⑲地下鉄路線の拡充	4	利便性を高めるために地下鉄の延伸が重要(雪に影響されない)			○
		地下鉄沿線を伸ばす(バスの運転手不足も補える)			○
		地下鉄路線の延長～南北線麻生から新琴似方面や清田区へ			○
⑳地下鉄ダイヤの改善	2	地下鉄の24時間運転			○
		地下鉄のダイヤを改良して混雑の平準化を図る			○
㉑地下鉄運賃の値下げ・補助 ⇒プロジェクトX	9	公共交通利用促進のため、官民挙げて補助する(通勤・通学含む)		○	○
		ドニチカ切符のようなものを平日でも使えるようにすることで、平日も色んなところに行けるようになる。			○
		敬老パスなど高齢者も車を使わずに外出できる仕組みを維持する			○
㉒地下鉄利用を快適に	4	地下鉄駅駅にエレベーターやエスカレーターを増やす			○
		地下鉄駅(終点)のバスターミナルの充実		○	○
		主要施設のアクセス向上→コインパーキングの削減		○	
㉓バスの増便	5	札幌中心部から遠い地区のバスを増便		○	○
		冬路線の新設		○	
		駅を中心とした周回バス(コミュニティバス)を増やす		○	○

4.「移動」に関する意見提案

(3)公共交通について

- 参加者から頂いた取組アイデアおよび取組の担い手は以下の通りです。

意見提案	アイデア数	取組アイデア(一部抜粋)	取組の担い手		
			市民	事業者	札幌市
㉔バスの運行方法見直し	5	遅延を減らす取り組み、時刻表の見直し		○	○
		市営バスの復活		○	○
		終バスの時間を遅くする		○	
㉕バス運賃の値下げによる利用促進	5	例えば週に2～3日公共交通が乗り放題になる「お散歩定期券」のようなものがあるとよい。			○
		観光客が多いので公共交通の「市民割」を。		○	
		スーパーの送迎バスを増やす		○	
㉖バス利用を快適に	6	丘珠方面等の便数が少ないバス路線では、先に高校生や大学生等の学生が乗車して、混雑しているため、高齢者が乗りにくくなっている。高齢者が乗りやすいように工夫が必要である。		○	
		最近リュックサックの人が多いので、掛けるための金具がたくさんあると良い		○	
		バスを快適に待つため、屋根付きなど停留所の改善が必要。			○
㉗バス事業者の収支改善策の検討	4	朝は大型バス、昼は小型バスというように繁閑に合わせて使用車両を変える		○	○
		(広告付きバス停だけでなく)広告を呼び込む工夫を。乗客は高齢者が多いので、高齢者向けの広告は効果が期待できる。		○	○
		周遊券・一日チケットの充実		○	

4.「移動」に関する意見提案

(3)公共交通について

- 参加者から頂いた取組アイデアおよび取組の担い手は以下の通りです。

意見提案	アイデア数	取組アイデア(一部抜粋)	取組の担い手		
			市民	事業者	札幌市
㉘観光客の利用促進	2	観光客が使いやすい案内を		○	
		滝野などの郊外観光地では、往路はタクシーに乗るが、復路ではタクシーが迎えに来てくれないためバスを使う観光客が多い。往復券があれば、往復ともバスを使うだろう。		○	○
㉙バスの新たな活用方法の検討	4	バスに乗ること＝娯楽となる仕組みづくり。お笑い芸人が運転手になる		○	○
		藤野など郊外の中核商店街への周遊バスを運行・あわせて買い物の宅配を実施する		○	
		学校行事のバスを市でまかなう		○	
㉚バス運転手・担い手の確保	8	バス運転手のなり手増→自動運転化→待遇増の法整備		○	○
		高校生へバス運転手の魅力を伝える		○	
		バスの運転手不足に対して、定年退職を迎えた自衛官の再就職先としてはどうか。		○	
㉛バスの自動運転化	3	バスは自動運行		○	○
		自動運転車の導入			○
		都心部でバスの無人運転		○	
㉜デマンド交通の導入	4	ライドシェアのような自由交通を導入する。Uber Eatsの運ぶものを人に変える感じにすると、若者もやってくれるのではないか。		○	○
		ドアtoドアで利用できる公共交通		○	○
		デマンドバスの拡充(タクシー会社)		○	

4.「移動」に関する意見提案

(4)行動変容について

- 参加者から頂いた取組アイデアおよび取組の担い手は以下の通りです。

意見提案	アイデア数	取組アイデア(一部抜粋)	取組の担い手		
			市民	事業者	札幌市
㉝歩いてみたいと思える環境づくり ⇒プロジェクトXI	7	歩くとポイントがつくようにしてはどうか。アプリで歩数を計測し、提携飲食店の利用や〇〇payに変換できるようにするとよい。ポロクル利用ともリンクしていると良い。	○	○	○
		地下鉄駅周辺の街づくりの充実。子供の遊べる場を駅につくる。休日に家族で遊びにいくための車利用を減らせられる。	○	○	○
		公園や植物園など環境にやさしく家から歩いていける居場所を増やす	○		
㉞冬の歩行空間の改善	6	歩道の除雪回数を増やす(砂もまく)	○		
		道路や動線の工夫			○
		雪のエネルギー利用			○
㉟車を利用しない仕組みづくり	4	車のある人は自分もそうだったが公共交通に乗らない	○		○
		P&R(パークアンドライド)			
		車前提のまちづくりになっているので、まずはコンビニなどの駐車場を減らす		○	○
㊱ライフスタイルを変える	8	ネットでの買い物で運送が使われるので、なるべく控えて自身で買い物すると割引になるなど	○	○	
		ドローンにより運搬や配達の普及(トドックのドローン化等)により、配達車や買い物のための車利用が減る		○	
		荷物が多いと公共交通は不便。買ったものを届けてくれる宅配サービスの利用を。そのためには宅配ボックスの設置も必要。	○	○	

4.「移動」に関する意見提案

(4)行動変容について

- 参加者から頂いた取組アイデアおよび取組の担い手は以下の通りです。

意見提案	アイデア数	取組アイデア(一部抜粋)	取組の担い手		
			市民	事業者	札幌市
㊲免許返納後の支援	7	免許持ってないことで生活が不利にならないように			○
		免許返納した時に無料公共交通券を配布			○
		免許返納後の支援増(タクシー含め)	○	○	○
㊳カーシェアリング・相乗りサービスの推進	4	相乗りの促進	○		○
		個人カーシェアを普及させる		○	
		カーシェアリング			
㊴公共交通を利用したくなる仕組みづくり	6	地下鉄など期間限定車両などを作り、乗りたくなるようにする		○	
		つり革の一つをハート形にして見つける楽しみを(昔あった)		○	
		バス・地下鉄・タクシーの年間利用クーポンを配布する。もったいなくて使う人が増えるのではないか。		○	
㊵買物やイベント時の公共交通利用促進	5	百貨店は買い物金額で駐車代金が無料になるが、逆に、公共交通や徒歩・自転車・タクシーで行くとサービスがあるようにするとよい	○	○	
		無料の送迎バスを増やす		○	
		大規模イベントはシャトルバスをセットで		○	

4.「移動」に関する意見提案

(4)行動変容について

- 参加者から頂いた取組アイデアおよび取組の担い手は以下の通りです。

意見提案	アイデア数	取組アイデア(一部抜粋)	取組の担い手		
			市民	事業者	札幌市
㊶公共交通利用促進に向けた情報発信	9	プッシュ型の情報提供			○
		地下鉄での再エネ電力利用、すばらしいのでもっとアピール			○
		会社の通勤に公共交通機関を利用することで出勤時間をずらせるなどのメリットを提示する		○	○
㊷まちなかを公共交通専用区域に	9	商品の搬入等は地下から		○	○
		休日の都心部への車の乗り入れ規制(市民の意識向上のため)	○	○	○
		中心部(札駅⇔すすきの)自家用車の乗り入れ禁止or高額利用料	○		○
㊸まちなかの魅力向上	3	楽しいイベントを開催して人を集める	○	○	○
		高齢者は時間があるのでイベントに参加しやすい	○	○	○
		地下街をもっと充実させる		○	○

5. プロジェクトの提案

- 意見提案の中で特に重要だと思うものを各班で投票し、内容を更に深堀する形で11のプロジェクトを提案しました。

※班によっては、多数決以外の方法で深堀する意見提案を決めた場合もあるため、必ずしも投票数の多い意見提案がプロジェクトとはなっていません。

：プロジェクトの基になった意見提案

(1)重要だと思う意見提案の投票結果

テーマ：住まい

テーマ	意見提案	A班	B班	C班	D班	E班	F班	合計
新築住宅	①補助金制度の拡充や改善	4	5	1	1	3	1	15
	②減税制度の導入	3	2		1	1		7
	③再エネ導入の推進(太陽光、水素等)	1		2				3
	④太陽光発電についての情報発信				1			1
	⑤太陽光パネルの技術開発 ⇒プロジェクトⅠ		1			3		4
	⑥防災対策への支援					1		1
	⑦安心・信頼できる事業者の紹介		1	2	1	2		6
	⑧オール電化の推進						2	2
	⑨住宅設備の技術開発の推進			1		4		5

5. プロジェクトの提案

(1)重要だと思う意見提案の投票結果

テーマ：住まい

テーマ	意見提案	A班	B班	C班	D班	E班	F班	合計
既存住宅	⑩既存住宅の活用	1						1
	⑪リフォームに対する支援 ⇒プロジェクトⅡ・Ⅲ	2		2	2	3	3	12
	⑫リフォームの工夫			3				3
	⑬電化製品の交換への支援	2		1	1			4
	⑭公営住宅等における設備導入	1		1				2
	⑮暖房・給湯機器のエネルギー変換			1	3	1		5
民間賃貸住宅	⑯民間賃貸住宅の省エネ設備導入支援			2		2		4
	⑰入居者やオーナーへのインセンティブ		1	2		1	3	7
	⑱断熱性能の向上					1	1	2
	⑲入居者への普及啓発	1			2			3
	⑳壁面への太陽光パネルの設置		4		1			5
	㉑マンション全体での理解促進			2	3	1		6
	㉒賃貸住宅についての情報発信強化	1		1			1	3

5. プロジェクトの提案

(1)重要だと思う意見提案の投票結果

テーマ：住まい

テーマ	意見提案	A班	B班	C班	D班	E班	F班	合計
行動変容・その他	㉓補助制度についての情報発信強化 ⇒プロジェクトⅣ	4	2	1	2		2	11
	㉔情報発信媒体の工夫	1				2		3
	㉕省エネ行動の見える化 ⇒プロジェクトⅤ	2	6	1	1	1	1	12
	㉖省エネ行動の義務化		1	1				2
	㉗省エネに対するインセンティブ	1	5	1	1	1	1	10
	㉘学校等における環境教育の充実	4		2				6
	㉙住まい方に関する意識の改善				1			1
	㉚消費電力の削減			1				1

5. プロジェクトの提案

(1)重要だと思う意見提案の投票結果

テーマ：住まい

テーマ		A班	B班	C班	D班	E班	F班	合計
行動変容・その他	㉛暖房に係るエネルギーの削減	1	1		1			3
	㉜ごみの削減			1			1	2
	㉝リモートワークの是非の検討				1			1
	㉞車利用の抑制、公共交通の利用	3			1	1		5
	㉟EV車等の導入促進							0
	㊱環境への配慮				2	1	1	4
	㊲先進事例の調査	1			1	2		4
	㊳熱対策・冷却の実施				1	1		2
	㊴まち全体を考える					2		2
	㊵無責任な取り組みは止めるべき	2		1	2	1	2	8
	㊶原子力発電の推進						6	6

5. プロジェクトの提案

(1)重要だと思う意見提案の投票結果

テーマ：移動

テーマ		A班	B班	C班	D班	E班	F班	合計
新築住宅	①次世代自動車への税負担等を減らす	4	1		1	1		7
	②ガソリン車の税負担額等を増やす		1			1		2
	③電気自動車の利用を促進する環境づくり	2		2		1		5
	④電気自動車の充電設備の充実			2	2	1		5
	⑤電気自動車についての情報発信の強化	1			2	1		4
	⑥電気自動車のの性能向上					3		3
	⑦電気自動車の選択肢を増やす							0
	⑧EV車のバッテリー性能の向上	1	1			2		4
	⑨事業用自動車の脱炭素化 ⇒プロジェクトⅥ	1	3	3	1	2		10
	⑩公共交通等の車両の脱炭素化	1	1	1	2	2		7
	⑪レンタカーの脱炭素化		2					2
	⑫EVはエコなのか ⇒プロジェクトⅦ				3	1	5	9
	⑬水素自動車						4	4

5. プロジェクトの提案

(1)重要だと思う意見提案の投票結果

テーマ：移動

テーマ		A班	B班	C班	D班	E班	F班	合計
自転車	⑭レンタサイクルの充実	1		4			1	6
	⑮駐輪場を増やす					2		2
	⑯冬の自転車利用の検討				1	1		2
	⑰自転車購入の支援							0
	⑱自転車の走行環境の向上 ⇒プロジェクトⅧ・Ⅸ	1	2	1	2	2	1	9
公共交通	⑲地下鉄路線の拡充	4	3	1				8
	⑳地下鉄ダイヤの改善		2	2			1	5
	㉑地下鉄運賃の改善・補助 ⇒プロジェクトⅩ	1	2		2			5
	㉒地下鉄利用を快適に			1	1		1	3
	㉓バスの増便		1	1		1		3
	㉔バスの運行方法見直し				1	2	1	4
	㉕バス運賃の値下げによる利用促進							0
	㉖バス利用を快適に						2	2
	㉗バス事業者の収支改善策の検討	1			2			3
	㉘観光客の利用促進				1			1

5. プロジェクトの提案

(1)重要だと思う意見提案の投票結果

テーマ：移動

テーマ		A班	B班	C班	D班	E班	F班	合計
公共交通	㉙バスの新たな活用方法の検討							0
	㉚バス運転手・担い手の確保	3	1	1	1		4	10
	㉛バスの自動運転化		1	3	1	2		7
	㉜デマンド交通の導入		2		1			3
行動変容	㉝歩いてみたいと思える環境づくり ⇒プロジェクトXI	9	4	1	2	3		19
	㉞冬の歩行空間の改善				1			1
	㉟車を利用しない仕組みづくり	1		1		1	1	4
	㊱ライフスタイルを変える							0
	㊲免許返納後の支援	3		3	1	2	2	11
	㊳カーシェアリング・相乗りサービスの推進		1			2		3
	㊴公共交通を利用したくなる仕組みづくり				1	2		3
	㊵買物やイベント時の公共交通利用促進	1	1	1				3
	㊶公共交通利用促進に向けた情報発信							0
	㊷まちなかを公共交通専用区域に		1	2	1		2	6
	㊸まちなかの魅力向上							0

(2)提案したプロジェクトの内容

Ⅰ. 原発の代わりとなるエネルギー発電プロジェクト

基になった意見提案: 住まい ⑤「太陽光パネルの技術開発」

意見グループ	取組アイデア
原発に頼らない電源の確保	・原発の稼働反対 ・原発の代わりになるエネルギーが必要 ・太陽光発電を増やす
	・雪国だから、屋根ではなく、雪が積もらない壁面で太陽光発電をする ・新しく開発されたシート型の太陽光発電装置を利用して建物の壁面への設置を推進する ・設置推進のために、設置への補助やシート型太陽光発電装置の開発推進

Ⅱ. 住まいのスマイル札幌！(住まいでスマイるさっぽろ どうしたら本気、その気になるか？)

基になった意見提案: 住まい ⑪「リフォームに対する支援」など

意見グループ	取組アイデア	
業者の育成	脱炭素を考えた業者のNISA	技術開発の促進(雪のエネルギー)
	宿泊税以外の税(インバウンドから)	業者の意見交換(ワークショップ)
情報発信	チャットボットを開発する(情報発信)	市営住宅のモニター。
	リフォームを安く出来る。モデルを →モニター	ZEHに大きな補助
	省エネハウスモデルハウスの周知	
コスト削減	断熱の点数→税金安くなる	
行動変容	今日からできること。 スイッチをこまめに切る。	電気を作らないと
	オール電化の運用コスト	今日からできること。歩く。

Ⅲ. 楽々リフォームプロジェクト

基になった意見提案：　住まい　⑪「リフォームに対する支援」など

意見グループ	取組アイデア
楽々リフォームプロジェクト	Re:project リフォーム内容のパッケージ化 ①断熱コース②電化コースなど…
	Rent Sapporo 賃貸住宅オーナーへの再エネ・断熱リフォームの金銭的支援
	CO2ゼロリフォームPJ 市民　エコリフォーム実施 事業者　エコリフォームの推進 札幌市　事業者への補助金
	市民が気軽に安価にリフォーム
	エンドユーザーの手をわずらわせない方法・運用の構築
	補助金制度の見える化（補助を受けてどんな利用があったか、効果など）
	リフォーム時の異動の援助
その他意見	快適＆地球にやさしい住まいを追求していこう！
	今の生活を工夫して節電するところから始めよう！
	ニューフロンティア ・公営住宅（既存）の省エネ・利便性の向上（無人コミュニティバス） ・高齢者、若い人それぞれに特化 ・無人住居バンクの設立
	住み替え　【高齢者】マンション⇔【家族世帯】一戸建

5. プロジェクトの提案

Ⅳ. みんなに教えてあげよう　みんなで学ぼうプロジェクト

基になった意見提案：住まい　㉓「補助制度についての情報発信強化」 など

意見グループ	取組アイデア
補助金・税制	中古の住まいが中心になる×新築は至難 マンション・一戸建て　→補助・税制：優遇措置の強化　→業者にもPRする
	市がチャットボット導入してわかりやすく紹介
	補助金制度そのものを浸透させる
	知らない人に教えてあげたい
学校教育	壁新聞コンクール
	札幌市のゆるキャラ？を使ってエコ教育の情報を映像化、アニメ化、シリーズ化（紙媒体より受け取りやすい）
	親子で参加する環境ツーリズム
	各学年で教える内容を変える。マメに節電
	学校の図書館に環境に関する本を置く
	わかりやすくできることから教える

Ⅴ. 省エネがわかるプロジェクト

基になった意見提案：住まい　㉕「省エネ行動の見える化」

意見グループ	取組アイデア
省エネ・地球温暖化対策のための行動の理解促進	・何をやったら省エネにつながるのかわかるようにしないと動けない
	・何をやったら省エネにつながるのかの見える化／省エネ活動の理解促進
行動を促すインセンティブの付与	・行動を促すためにインセンティブ（ポイントや助成等）が必要

5. プロジェクトの提案

Ⅵ. Biz･ECO･project

基になった意見提案：移動 ⑨「事業用自動車の脱炭素化」 など

意見グループ	取組アイデア
Biz･ECO･project	社用車の再エネEV車化
	リース車両EV化プロジェクト 事業者　リース車　EV･HEVに限定する 札幌市　補助金検討
その他意見	コミュニティバスの無人化推進

Ⅺ. 本当に本当？プロジェクト

基になった意見提案：移動 ⑫「EVはエコなのか？」 など

意見グループ	取組アイデア
エネルギー政策において国民議論を深める必要がある。	自然エネルギーには土地面積の制約がある。太陽光･風力は土地が広い国でやるべき。
	洋上風力は、海が深い日本には向いていない。 大陸棚が浅い中国･ヨーロッパと同じに考えてはいけない。
	新しいエネルギー、例えば核融合などへ積極投資すべき。 新しいエネルギーが開発されるまでは原子力を活用する。
既存住宅への対策推進	効果を挙げるためには既存住宅を対象に、簡単かつ広範に出来る対策を進めよう。
	大規模な工事でなく、ちょっとしたリフォームも対象とする補助制度の実施。
	環境性能の高い建材の使用促進。
	太陽光パネルの設置よりも、断熱性能向上に補助を重点化すべき。屋上緑化を進めよう。
	空きビル内での水耕栽培。

XI. 本当に本当？プロジェクト(続き)

基になった意見提案：移動　⑫「EVはエコなのか？」など

意見グループ	取組アイデア
本当に？？というギモン（交通編）	EVが本当にエコの最適解なのか、研究・検証を進めるべき。 本当に良いものを見極める。もっと良いものがあるのではないか。
	市のEV施策を検証する。CO2排出量の算出。
	製造時のCO2排出量でEVはガソリン車の2倍。EVのCO2排出量がガソリン車を下回るためには11万km以上走行しなければならない。EVを買うだけで使わなければEVの環境価値は無く、市が両輪で進める「公共交通利用促進（自動車走行距離を減らそう）とEV導入促進（EVを買おう）」という施策方針はCO2排出削減の目標において矛盾している。
EVではなく水素シフト	EV推進の見直し。水素自動車などの推進。
	企業を道内へ誘致し、メーカーに開発を頑張ってもらう。
	（生産工場は市外だとしても）北大や理系大学とメーカーが協力する、研究機関を誘致するなど、頭脳は札幌が担う。
	Iターン就職など札幌で働く人を連れてくる。
	研究者の海外流出問題。
	北海道に特化した自動車に対して補助を行うことで、開発と普及を促進する。
公共交通・バス対策	バスのECO化推進（メーカー開発）
	大企業は送迎バスに電気バスを導入する。
	運転手の働き方、賃金の問題
	連結バスによる輸送効率の向上。
	意見を計画に反映するだけでなく、具体の補助を行い、バス運転手確保に役立てる。

5. プロジェクトの提案

Ⅷ. チャリCITY SAPPORO

基になった意見提案：移動　⑱「自転車の走行環境の向上」 など

意見グループ	取組アイデア
チャリCITY SAPPORO	Re:cycle ・チャリ利用の推進project ・環境整備
	三輪車＆電動自転車の推進　※高齢者もOK
	自転車のりかた講座

Ⅸ. 自転車利用改善プロジェクト

基になった意見提案：移動　⑱「自転車の走行環境の向上」 など

意見グループ	取組アイデア	
自転車の利用を増やす	車利用者が自転車に切り替え	電動自転車を入手しやすく（補助金の拡充）
歩行空間	自転車が走れる歩行空間がほしい	車道に自転車の歩行空間がない
	自転車が歩道を走らざるを得ない	自転車専用の歩行空間
	公共交通に自転車が乗れるように	高齢者が自転車に乗っていると怖い
走行環境（冬の問題）	チカホで自転車を利用できると良い	歩行者からみた自転車も怖い
	地下鉄に沿って自転車の走行区間を作る	冬用のタイヤなら大丈夫？（マウンテンバイクとか）
	冬に自転車乗る人は危なく感じる	
停めた時の用途の工夫	冬の駐輪時に別の利用の仕方をする	

5. プロジェクトの提案

X. 交通最先端都市プロジェクト

基になった意見提案：移動　㉑「地下鉄運賃の改善・補助」 など

意見グループ	取組アイデア（一部抜粋）
公共交通（地下鉄）の利用促進	・札幌は世界一の積雪量になる大都市であり、ハンデでもある ・ハンデを地下鉄で克服していく ・地下鉄は清掃工場の排熱を利用しており、利用を促進する
デマンド交通の利用	・地下鉄でカバーできない地域（清田等）は、デマンド交通でカバーしていく ・ウーバーイーツでいう物を運ぶのではなく、代わりに人を運ぶようなウーバーイーツの人版
まちづくりとの連動	・地下鉄の利用促進のためには、地下鉄駅周辺に行きたくなるような魅力的な施設を整備することが必要
	・地下鉄沿線は除雪のレベルを落とし、地下鉄でカバーできない地域の除雪の重点化など、除雪のメリハリをつけて、効率化と除雪費削減
	・地下鉄利用促進のためには歩きたくなるまちづくりが重要 ・地下鉄と自転車が有機的に利用できるように自転車が利用しやすいまちづくりが重要 ・自転車を乗りたくても、危険が多い
若者が利用したくなるような仕掛けが重要	・地下鉄利用客の主体となる若者（中高大等）がとびつくような視点が重要 ・若者が飛びつきやすいのは得になることで、ポイント、電子マネー、安くなる等 ・若者が利用促進されると、その若者が大人になっても継続して利用していく

VI. みんなで楽しく歩こうプロジェクト

基になった意見提案：移動　㉝「歩いてみたいと思える環境づくり」 など

意見グループ	取組アイデア（一部抜粋）
歩いてみたいと思える	歩く、歩数ランキング　競い合う制度　（1か月毎のランキング表彰制度）※既に札幌市で実施中（参加中）
	歩くイベントを継続してやる。 歩数でポイントたまる。 ポイントで景品と交換。
	イルミネーションのような装飾を四季ごとに行いスタンプラリーを行う。

5. 参考資料

●住まいに関する取組アイデア（A班）

テーマ	発言内容（提案・アイデア）	①新築住宅	②既存住宅	③民間賃貸	④行動変容	市民	事業者	札幌市
継続的な活動	建てて終わりではなく、取り組みを継続すること	○				○		
	省エネの為に無駄な電気をこまめに消すこと				○	○		
	LEDへ照明の交換を行うこと				○	○		
モチベーションの向上	省エネした分を見える化する	○	○	○	○	○	○	○
	省エネした分をポイント化して利用できるようにする	○	○	○	○	○	○	○
補助金の情報充実・制度拡充	札幌市や北海道の省エネ住宅の補助金の仕組みについて、建築業者や設計士等の専門業者にもっと浸透させる	○	○	○			○	○
	補助金制度をもっとアピールした方が良い	○	○	○				○
	省エネの補助金制度はPR不足ではないか	○	○	○				○
	省エネ補助の対象を拡大してはどうか	○	○	○				○
	太陽光発電設備のコストや耐用年数を一般の人に分かり易くして、交換時に補助してはどうか	○	○	○				○
	灯油からガスや電気に移行化するときの補助	○	○	○				○
	空き家の購入とリフォームに対する補助の充実。							

5. 参考資料

●住まいに関する取組アイデア（A班）

テーマ	発言内容（提案・アイデア）	①新築住宅	②既存住宅	③民間賃貸	④行動変容	市民	事業者	札幌市
民間賃貸住宅の省エネ化の促進	民間賃貸住宅の照明のLED化に補助してほしい			○			○	○
	民間賃貸住宅へ積極的に断熱性の高いものにするよう行政から指導、補助をする			○			○	○
	民間賃貸住宅へ太陽光発電施設を設置させ、CO2を削減させる			○			○	○
環境情報の充実	広報は大事。何回も掲載すると1回ぐらいは目にする機会ができる	○	○		○			○
	地区の広報誌にもPRする	○	○		○			○
	LINEの札幌広報をもっと活用する	○	○		○			○
	図書館等で入手できるようにする	○	○		○			○
	まずは多くの人に知ってもらえるように活動する	○	○		○			○
	断熱改修等、どこに相談したらよいのか、どこから情報を得られるのかわからない～いきなり札幌市に行くのはハードルが高い	○	○		○		○	○
環境教育の充実	環境イベントやセミナーの開催	○	○	○	○	○	○	○
	学校でも教育の時間を設けて、これから住みやすい未来の暮らし方を学んでいく	○	○	○	○	○		○

5. 参考資料

●住まいに関する取組アイデア（B班）

テーマ	発言内容（提案・アイデア）	①新築住宅	②既存住宅	③民間賃貸	④行動変容	市民	事業者	札幌市
再エネ普及に向けた取組	太陽光発電導入のメリットをより明確にする	○	○				○	○
	屋根上の雪を融かす暖房とソーラーパネルが共存できると北海道でも使いやすくなる	○	○				○	
	太陽光発電設置増加を強化するためにCMやSNSの周知をUPさせる	○	○				○	
減税・補助金	分かりやすい補助金の導入	○	○					○
	一定条件を満たせば固定資産税を減税する制度の導入	○	○					○
	省エネ減税の導入（エコカー減税のような）	○	○					○
	助成金の利用までにかかる時間が長い（リフォームなど）	○	○					○
賃貸住宅における脱炭素	賃貸住宅でも個人が行うことができる断熱対応などがあれば周知する			○			○	○
	賃貸住宅オーナーへのインセンティブを導入する			○				○
	オール電化になったとしても費用が抑えられるのであればもっと普及するはず			○			○	○
	賃貸共同住宅を選ぶ際のポイントとして、条件を充足した物件を公表する			○			○	
生活の工夫	部屋の温度を調整するまえに、服装で調整する				○	○		
	こたつを利用する				○	○		
	室温を可視化する				○	○		
	こまめな節電を行う				○	○		
	灯油の使用を減らすための代替案を検討するべき				○	○		
	ゴミを削減する				○	○		
	冷蔵庫に物を詰めすぎない				○	○		

5. 参考資料

●住まいに関する取組アイデア（B班）

テーマ	発言内容（提案・アイデア）	①新築住宅	②既存住宅	③民間賃貸	④行動変容	市民	事業者	札幌市
省エネ行動の可視化	省エネ行動による効果が分かりにくいので数字で可視化できるようにする				○		○	○
	経済的メリットを可視化する				○		○	○
	目標の到達に向けて最も有効なことをシンプルに提示する				○		○	○
	家庭内でどのような行動をすればどれだけのCO2が削減されるか、チェックリストを作る				○		○	○
	アプリを使った省エネのポイント制度を導入る				○		○	○
	学校教育で省エネの癖をつける				○			○
	自主性に任せての達成は難しいので義務化も検討する				○			○
既存住宅の活用	家を新築するよりもまずは中古住宅の改築を検討する		○				○	○
	空家や空き地でリースやPPAを行う		○				○	○
新築住宅	脱炭素に最適な設計を分かりやすく公表する	○					○	
その他	ある日突然山の中に木を倒し切り開いて太陽光パネルが現れるような自然を壊してのエネルギーに疑問				○	○	○	○
	泊原発が稼働していない現在でもなんとかCO2排出量は減っているので、まずは省エネを中心に電力の消費を抑えるべき				○	○		

5. 参考資料

●住まいに関する取組アイデア（C班）

テーマ	発言内容（提案・アイデア）	①新築住宅	②既存住宅	③民間賃貸	④行動変容	市民	事業者	札幌市
オール電化	オール電化にしたいけど電気代が高すぎる。	○	○				○	
	オール電化を進める。電力会社の価格の見直し・電力料金の引き下げが必要。	○	○				○	
分譲マンション	住んで45年になり、すべてが古い電化製品になる中、エコ（な製品に）取り替えたい。		○			○		
	給湯機器を変更するにはお金がかかりすぎる		○			○		
再エネの推進 ・太陽光 ・水素	都市ガスを水素ガスへ切り替える。	○	○	○			○	
	オフィスビルの屋上での太陽光発電を義務化する。						○	○
	窓ガラスで太陽光発電ができないか。						○	
情報提供やPR	省エネ情報のPRの拡充	○	○	○	○	○	○	○
	住宅選びの際の省エネ情報が少ない	○	○	○	○	○	○	○
	“断熱すると月々の光熱費が下がってお得！”といったアピールが必要か。	○	○	○	○	○	○	○
既存住宅リニューアルのイメージを変える	既存住宅（戸建て）における“省エネ化に手間がかかる”という（リニューアルの）イメージを変えていきたい		○			○	○	○
熱が逃げる	省エネ意識の啓発（が必要）		○				○	
	性能の高い窓へのリフォーム（特に、賃貸共同住宅）		○	○		○		
省エネの推進	照明を人感センサー付きにすることで削減できた。		○		○	○		
官民連携でのリニューアル・モデル事業	UR団地などの大規模住宅群で新しいシステム（水素発電など）を採用する。		○				○	○
気密性と換気	気密性が高い反面、湿気が気になる。			○		○		

5. 参考資料

●住まいに関する取組アイデア（C班）

テーマ	発言内容（提案・アイデア）	①新築住宅	②既存住宅	③民間賃貸	④行動変容	市民	事業者	札幌市
事業費の支援 ・特に、1980年代建築	1980年代に建設された一般住宅の（老朽化と耐震）改修が必要。		○					○
	リフォーム全体にもっと行政の支援が必要（ではないか）		○	○		○		○
	リフォームに掛かるローン減税の拡充							○
	新築後、20年を超えてもローン減税（を続ける）							○
民賃の水準アップと支援	賃貸の場合、月々の光熱費が分からないため、家賃＋光熱費といったランニングコストを知りたい。			○	○	○	○	○
	ランニングコストを考えて行動するようにしたい。				○			
	省エネ性能の高い賃貸住宅の家賃補助			○				○
世帯人数に応じた対策	（増加する）単身世帯と複数人員世帯で住まい方に関する意識が異なる。				○			
省エネ・再エネとワークスタイル	リモートワークは推進すべきか。				○	○	○	
	リモートワークが増えると家庭の光熱費はあがる。				○	○	○	
	夏は出社したい。				○	○	○	
移動	車通勤を避ける。（課税するとか）				○			○
地球環境と住まいの関係	森林のCO2吸収量はどのように増加するのか。それ以外の対策はないのか。				○			○
先進的な取り組みのある都市	脱炭素化が進んでいる都市（国内・海外）を参考にしてはどうか。							○

5. 参考資料

●住まいに関する取組アイデア（D班）

テーマ	発言内容（提案・アイデア）	①新築住宅	②既存住宅	③民間賃貸	④行動変容	市民	事業者	札幌市
まち全体を考える	サーマルリサイクルの概念も必要					○		○
	CO2とO2の循環					○		○
技術開発	不思議な窓（温度を自動感知）	○	○	○			○	
	特殊な外壁（ヒートテック：蓄熱・発熱）	○	○	○			○	
	リサイクルしやすい建築材料	○	○	○			○	
改修への補助	戸建の外壁改修に補助金		○	○				○
暖房・給湯機器のエネルギー変換	暖房・給湯機器の変換（電気→ガス）		○				○	○
	パネルヒーター更新時にエネルギー源を変える		○			○	○	
	機器によっては寿命が短い～耐久性も大事		○				○	
多様な再エネの活用	太陽光エネルギーだけでなく、地熱・風・水等も活用	○	○	○			○	○
	マンションの上階部から排出された水を利用した水力発電	○	○	○			○	
壁面への太陽光パネルの設置	賃貸住宅の壁にも太陽光パネルを設置する			○			○	
	太陽光パネルの色を壁と同色にする			○			○	
災害時の対応	太陽光＋蓄電池のセットで災害時対応	○	○	○				○
太陽光パネルの情報周知	太陽光パネルの安全性をアピールする	○	○	○				○
	太陽光パネルのデメリットも十分理解できるようにする							○
再エネと自然環境のバランス	太陽光パネル設置ではなく植樹を増やす							○
マンション全体での理解	マンション省エネコンサルタントをもっとお知らせする							○
	集合住宅では個別にエネファーム導入ができなかった			○			○	○
	マンション全体での更新が必要			○			○	○
	旧型設置者にも改修の機会、理解を			○		○	○	

5. 参考資料

●住まいに関する取組アイデア（D班）

テーマ	発言内容（提案・アイデア）	①新築住宅	②既存住宅	③民間賃貸	④行動変容	市民	事業者	札幌市
仲介事業者の役割	スーモなどの検索サイトに建設業者名を掲載する			○			○	○
	民間賃貸住宅の仲介事業者が断熱性能等についての情報を理解する			○			○	
楽しく省エネ	半纏の着用（おしゃれに我慢）			○			○	
	20℃に耐える装備、服装				○	○		
	家族が同じ空間で過ごす時間を増やす				○	○		
	使わない部屋の電気は必ず消す				○	○		
	使っていないコンセントは抜く				○	○		
	掃除機は使わずほうきで掃除				○	○		
	真空保温調理器を使い、IHの使用量を減らす				○	○		
	ゴミを出さない				○	○		
公共施設の利用	積極的な公共施設の活用				○	○		
	自宅での使用エネルギーを減らす				○	○		
公共交通	車は使わず公共の乗り物に乗ってます				○	○		
省エネに対するインセンティブ	消費電力を削減すると補助金を				○	○		
	使用エネルギーを削減できたら事業者がポイントを				○		○	○
貸し出し制度の周知	再エネ機器、太陽光発電の貸し出し契約を広める				○		○	

5. 参考資料

●住まいに関する取組アイデア（E班）

テーマ	発言内容（提案・アイデア）	①新築住宅	②既存住宅	③民間賃貸	④行動変容	市民	事業者	札幌市
太陽光パネル	廃棄のコストやリスクが心配。	○					○	○
	興味はあるが、もっとデザインのいいものがあれば嬉しい。	○					○	
	冬の間太陽光発電で賄えない分の電気をどうするのかわからない。	○						○
	共同住宅で個別にパネルを導入することは可能なのか。			○			○	○
お金面について	北方型住宅の導入に係る補助が欲しい。	○						
	補助金を増やしてほしい。	○	○	○	○			○
	災害時の備えにゼロエネルギーを手軽に導入できるような制度が欲しい。	○	○		○	○	○	○
技術について	ペアガラス対応で高断熱の窓があるのか知りたい。	○	○				○	○
	高断熱・高気密の設備を開発してほしい。	○	○				○	
	脱炭素住宅への家賃補助みたいなものが欲しい。			○				○
	無落雪屋根の、雪解け水をトイレなどに利用する技術があるか。	○					○	
安心・信頼	住宅の無料調査をしてほしい。		○					○
	信頼できる業者・メーカーとのマッチング制度が欲しい。	○	○					○
	電気屋と建築屋のコラボはできないのか。							○
周知・宣伝	助成の存在をどう知らせているのか気になる。	○	○					○
	モニターなどの募集があれば参加したい。	○	○				○	○
生き方など	ZEHの老人ホームに住みたい。			○	○	○	○	○
	エコな住まい方をしたい。				○	○		
	CO2排出量を把握したい。				○	○		○
	自分だけでなく、孫のために何ができるか考えたい。				○	○		
	もったいないという気持ちを忘れない。				○	○		
制度	事業者の優良認定制度があればよい。		○					○
	各市でCO2排出量をどのように把握しているのか知りたい。				○			○
	自治体である程度制限することが大切では。（LEDしか製造してはいけないみたいに）				○			○

5. 参考資料

●住まいに関する取組アイデア（F班）

テーマ	発言内容（提案・アイデア）	①新築住宅	②既存住宅	③民間賃貸	④行動変容	市民	事業者	札幌市
補助金・経済的メリット	補助金の充実	○	○					○
	補助制度や助成について情報を取りに行かなくてはならない。圧倒的に市民へ届いていない。	○	○					○
	補助制度（補助金）の利用の仕方が分からない。周知啓発が必要。	○	○					○
	（補助金について）住宅業者の意見も聞きたいです。	○	○				○	
	エコに取り組もうにも導入コストがハードルとなる。助成が必要。	○	○					○
	減税（エコ減税）を。	○	○	○				○
啓発・教育	補助制度（補助金）の利用の仕方が分からない。周知啓発が必要。（再掲）	○	○					○
	小中学生でエコライフレポートを真面目にやっているのを見たことがない。				○	○		○
	そもそもエコって何だ？				○	○		
	（小中学生よりももっと）小さい頃からエコ教育を行う必要がある。				○	○		○
リフォーム・北方型住宅	エコリフォームを進めるべき。		○			○	○	
	アルミサッシの樹脂サッシ化。		○	○		○	○	
	三重窓の標準化。		○	○		○	○	
	寒くなりがちな風呂場を中心にレイアウトするなど間取りの改修。		○			○	○	
	空き家の購入とリフォームに対する補助の充実。		○					○

5. 参考資料

●住まいに関する取組アイデア（F班）

テーマ	発言内容（提案・アイデア）	①新築住宅	②既存住宅	③民間賃貸	④行動変容	市民	事業者	札幌市
熱対策・冷却	打ち水をして温度を下げる。埼玉県熊谷市のイベントのように。				○	○	○	
	屋上の緑化（畑など）をしたら、温度が下がるかも。		○		○	○	○	
	雪をうまく利用できないものか。					○	○	○
省エネ行動	冬は室内で厚着する。北海道は冬季の室内温度設定が高い。				○	○		
	お風呂は間隔をあけずに入ることで、ガスの使用量を減らす。				○	○		
	ガソリンを使わない自動車の一般普及を進めて脱炭素化に繋げる。				○	○		
	ハイブリッドカーを購入したが、暖機運転できないため寒いまま出勤している。				○	○	○	
技術開発	エコかつ快適なものをメーカーに作ってほしい。						○	
	（ソーラー発電だけでなく）小風力発電や小水力発電の機器開発と住宅への導入を。	○	○				○	
無責任な取り組み	太陽光パネルのリサイクルや廃棄の問題を考えずに、安価という理由だけで推進するのは如何なものか。						○	○
	グリーンウォッシング（うわべだけの環境対策）をやめる。					○	○	○
原発・核融合	（北電に対して）原発再稼働を。						○	
	泊原発1・2・3号機の稼働で年間100万トンほどのCO2削減が可能。						○	
	核融合。新しい技術の開発に国は取り組むべき。						○	

5. 参考資料

●移動に関する取組アイデア（A班）

テーマ	発言内容（提案・アイデア）	①自動車の脱炭素化	②公共交通	③行動変容	市民	事業者	札幌市
始めやすい仕組み	電気自動車レンタル	○			○		○
	電気自動車営業チーム	○			○	○	
PR不足	ハイブリッド車、電気自動車の効率や補助の有無のPR不足	○					○
免許なくても暮らしやすい	免許持ってないことで生活が不利にならないように		○				○
免許返納を促すメリット	免許返納したら公共交通の補助を（若い人でも）		○				○
	免許返納した時に無料公共交通券を配布		○				○
公共交通を利用する楽しみ	地下鉄など期間限定車両などを作り、乗りたくなるようにする		○			○	
	つり革の一つをハート形にして見つける楽しみを（昔あった）		○			○	
	人気アニメのラッピング		○			○	
	無料乗車デー、スタンプラリーなどで利用促進		○			○	
	ICカード（サピカ）をもっと便利に使えるように		○			○	
運転手の確保	運転手のなり手を増やす工夫		○			○	
	なりたくない理由を分析		○			○	
	給料、待遇改善		○			○	
地下鉄の延伸	利便性を高めるために地下鉄の延伸が重要（雪に影響されない）		○				○
	地下鉄沿線を伸ばす（バスの運転手不足も補える）		○				○

5. 参考資料

●移動に関する取組アイデア（A班）

テーマ	発言内容（提案・アイデア）	①自動車の脱炭素化	②公共交通	③行動変容	市民	事業者	札幌市
高齢者だけでなく市民全体への補助を	公共交通利用促進のため、官民挙げて補助する（通勤・通学含む）		○			○	○
	市民全体に乗車料金サービス（公共乗り物利用）		○				○
	車をなくしたことに対する補助（バス券、タクシー券の提供）		○				○
	自宅～通勤者への補助		○				○
ネットでの買い物抑制	ネットでの買い物で運送が使われるので、なるべく控えて自身で買い物すると割引になるなど			○	○	○	
車から自転車への切り替え	自転車を乗りやすい道づくりが必要			○			○
	自動車から自転車利用への補助（利用の拡充）			○			○
	自転車購入補助金			○			○
	自転車利用のマナー向上			○	○		
シェアサイクル	ポロクル身近で見たことないのでエリアを増やす			○		○	
まちなかの広場	まちなか全体を車の入れないはだしの広場に			○			○
	大通公園周辺は車禁止（地下鉄、バスでしか入れない）			○			○
	商品の搬入等は地下から			○		○	○
	楽しいイベントを開催して人を集める			○	○	○	○
	高齢者は時間があるのでイベントに参加しやすい			○	○	○	○
きめ細かな情報提供	町内会単位でのお知らせの充実			○			○
	プッシュ型の情報提供			○			○
	広報誌と一緒にチラシを配布			○			○
努力の見える化	CO2削減した分の1年間の貢献度がわかればがんばれそう			○	○		○

5. 参考資料

●移動に関する取組アイデア（B班）

テーマ	発言内容（提案・アイデア）	①自動車の脱炭素化	②公共交通	③行動変容	市民	事業者	札幌市
事業者の車のEV・FCV化の促進	カーシェアリング用（TIMES等）の車やレンタカーのEV・FCV化	○				○	○
	病院の送迎バスをEV・FCVに換える	○				○	○
補助金の普及	ガソリン車からEV・FCVへの買い替えで更なる補助金を出す	○	○		○	○	○
	EV・FCVへの補助をもっとPRする	○					○
EV・FCV普及に向けての技術革新	ドローンにより運搬や配達の普及（トドックのドローン化等）により、配達車や買い物のための車利用が減る	○				○	
	EVの普及のため、携帯のモバイルバッテリーのようなバッテリーの開発	○				○	
	次世代自動車の走行距離性能や寒冷地対応等性能向上	○				○	
	EVの車種をガソリン車ぐらいに増やす	○				○	
Uber Eatsの人版	ライドシェアのような自由交通を導入する。Uber Eatsの運ぶものを人に変える感じにすると、若者もやってくれるのではないか。		○			○	
地下鉄・バスの利用促進	地下鉄路線の延長～南北線麻生から新琴似方面や清田区へ		○				○
	地下鉄駅駅にエレベーターやエスカレーターを増やす		○				○
	ドニチカ切符のようなものを平日でも使えるようにすることで、平日も色んなところに行けるようになる。		○				○
	営業マン向けの専用カード（地下鉄・バス利用）。駐車場代の経費削減が可能になる。		○			○	○
	地下鉄駅（終点）のバスターミナルの充実		○				○
	丘珠方面等の便数が少ないバス路線では、先に高校生や大学生等の学生が乗車して、混雑しているため、高齢者が乗りにくくなっている。高齢者が乗りやすいように工夫が必要である。		○			○	○

5. 参考資料

●移動に関する取組アイデア（B班）

テーマ	発言内容（提案・アイデア）	①自動車の脱炭素化	②公共交通	③行動変容	市民	事業者	札幌市
公共交通・徒歩・自転車・タクシー利用促進のためのインセンティブ	バス・地下鉄・タクシーの年間利用クーポンを配布する。もったいなくて使う人が増えるのではないか。		○	○		○	○
	百貨店は買い物金額で駐車代金が無料になるが、逆に、公共交通や徒歩・自転車・タクシーで行くとサービスがあるようにするとよい		○	○	○	○	○
	歩くとポイントがつくようにしてはどうか。アプリで歩数を計測し、提携飲食店の利用や〇〇payに変換できるようにするとよい。ポロクル利用ともリンクしていると良い。		○	○	○	○	○
	駐輪場が少ない		○			○	○
まちづくりと連携	休日の都心部への車の乗り入れ規制（市民の意識向上のため）		○	○	○	○	○
	地下鉄駅周辺の街づくりの充実。子供の遊べる場を駅につくる。休日に家族で遊びにいくための車利用を減らせられる。		○	○	○	○	○
心理的な最大の壁	雪が降ると歩きたくない			○	○		
	車は便利すぎる			○	○		
その他	地下鉄を東京並みに拡充する			○			○

5. 参考資料

●移動に関する取組アイデア（C班）

テーマ	発言内容（提案・アイデア）	①自動車の脱炭素化	②公共交通	③行動変容	市民	事業者	札幌市
EVの利用・電化	次の車を買うときはEV	○		○	○		○
	身体の不自由な人はタクシーに乗るので電気自動車にし、料金を安くする	○				○	○
	Timesなど街中レンタルの電気自動車化を強制とする。（シェアカーのサービス充実とともに）	○				○	○
車の開発	4WD車のEV車両の充実	○				○	
	買い物、病院など近くの移動用の小型（2人乗り）の開発	○				○	
	バッテリー性能の向上・開発	○				○	
ガソリンを利用しにくくする	ガソリンへの税負担を増やす	○				○	○
	ガソリンの補助金をやめることで自ずと電気化するのでは	○				○	○
EVを利用しやすく	電気自動車用の駐車場を増やす	○				○	○
	電気自動車の充電スタンドをセコマに必ず作る	○				○	○
	充電設備の充実	○				○	○
バス	遅延を減らす取り組み、時刻表の見直し		○			○	
	利用しやすいバスの開発（車両、運用）		○			○	
	バスに乗ること＝娯楽となる仕組みづくり。お笑い芸人が運転手になる		○			○	
	朝は大型バス、昼は小型バスというように繁閑に合わせて使用車両を変える		○			○	
	バスは自動運行		○			○	
	最近リュックサックの人が多いので、掛けるための金具がたくさんあると良い		○			○	
	バスの運転手さんを増やすために官・民協力して何かできないか		○			○	○
	バス運転手のなり手増→自動運転化→待遇増の法整備		○			○	○
	無料の送迎バスを増やす		○			○	
	イオンなどのショッピングモールから無料送迎バスをもっと増やしてもらう		○			○	
	藤野など郊外の中核商店街への周遊バスを運行・あわせて買い物の宅配を実施する		○			○	

5. 参考資料

●移動に関する取組アイデア（C班）

テーマ	発言内容（提案・アイデア）	①自動車の脱炭素化	②公共交通	③行動変容	市民	事業者	札幌市
ポロクル利用	ポロクルを住宅地にスタンド拠点増す		○			○	
	ポロクルのエリア拡充		○			○	
	三輪車のポロクル開発		○			○	
お得なチケット	ドニチカを複数枚購入で割引になる等すると家族で利用する人が増える		○				○
	周遊券・一日チケットの充実		○			○	○
	夏冬の利用数の差を埋める安定運行。夏は自転車、冬はバスで年間トータル定期券		○			○	○
利用のしやすさ	地下鉄の24時間運転		○				○
支援	免許返納後の支援増（タクシー含め）			○	○	○	○
市民の行動変容	まずは春・秋から歩いてみる			○	○		
	冬は車に乗らない			○	○		
	乗客のマナー向上			○	○		
	相乗りの促進			○	○		
	車のある人は自分もそうだったが公共交通に乗らない			○	○		
除雪対策	歩道の除雪回数を増やす（砂もまく）			○	○		
	完全ロードヒーティング			○	○		
中心部での車の利用制限	中心部（札駅⇔すすきの）自家用車の乗り入れ禁止or高額利用料		○	○	○		○
	市街地への車両侵入制限→公共交通利用増へ（例：ドイツ）		○	○	○		○
エネルギー供給	地域ごとに水素エンジンと太陽光で発電→EVステーション　地域住民への電力供給	○	○	○		○	○
その他	高齢化と移動の課題	○	○	○	○	○	○

5. 参考資料

●移動に関する取組アイデア（D班）

テーマ	発言内容（提案・アイデア）	①自動車の脱炭素化	②公共交通	③行動変容	市民	事業者	札幌市
自動車の開発	製造、輸送、廃棄までを含む車のライフサイクル全体を考える	○				○	
	使いやすい車（自動、安い、小さい）	○				○	
	北海道の気候に合った車種の開発	○				○	
	環境に良いけどガソリン車らしい乗り心地の車	○				○	
環境に良い自動車の普及	中古車価格を上昇させ、中古車店を縮小させる	○				○	○
	次世代自動車への車税を減らす。ゼロエミッション自動車はさらに	○					○
	バスのハイブリッド化を進める。	○				○	
事業者の利用促進	社用車を電気自動車に転換（送迎車両、配達、営業等）	○		○		○	
	社用車をハイブリッド化するといいことがあるようにする	○				○	
情報発信の強化	市民への情報提供	○					○
	電気自動車関連の情報発信						
	電気自動車とガソリン車の違いをより詳しく。（環境にやさしいとかではなく、実用性について）	○					○
イベントの送迎	無料送迎バスの推進	○				○	
	大規模イベントはシャトルバスをセットで	○				○	
地下鉄の利用促進	地下鉄のダイヤを改良して混雑の平準化を図る		○				○
	公共交通の利用料金を下げる。車よりもお得にする。		○			○	○
	ドニチカを平日にも		○				○
	主要施設のアクセス向上→コインパーキングの削減		○			○	○
バスの利便性向上	お年寄りにやさしいバス停表示、案内、暖かさ		○				○
	市営バスの復活		○			○	
	学校行事のバスを市でまかなう		○			○	
	観光客が使いやすい案内を		○			○	
	自動運転車の導入		○				○
	路線バスの路線は冬の特性にあったものを		○				○

5. 参考資料

●移動に関する取組アイデア（D班）

テーマ	発言内容（提案・アイデア）	①自動車の脱炭素化	②公共交通	③行動変容	市民	事業者	札幌市
バスのデマンド化	ドアtoドアで利用できる公共交通		○			○	○
	デマンドバスの拡充（タクシー会社）		○			○	○
情報発信の強化	高校生へバス運転手の魅力を伝える		○			○	○
	路面電車のインフラの情報発信		○			○	○
ライフスタイルの転換	免許の更新をやめた			○	○		
	リモートワークを行う			○	○		
	あるく			○	○		
歩きやすい道路	道路や動線の工夫			○			○
	雪のないところを歩きたい			○			○
自転車の利用促進	雪道に強い自転車			○		○	
	冬に自転車に乗るべきか			○	○		
	自転車用の地下トンネル			○			○
駐輪場の整備	コインパーキングを駐輪場に			○		○	○
	地下鉄入口付近のスペースは冬：コインパーキング　冬以外：駐輪場			○		○	○
	駐輪場の整備			○			○
	駐輪場が使いにくい			○			○
情報発信の強化	地下鉄での再エネ電力利用、すばらしいのでもっとアピール			○			○
	市民への情報発信をしっかり			○			○
その他	雪のエネルギー利用			○			○
	街なかに車で来させない			○			○

5. 参考資料

●移動に関する取組アイデア（E班）

テーマ	発言内容（提案・アイデア）	①自動車の脱炭素化	②公共交通	③行動変容	市民	事業者	札幌市
公共交通が不十分	バスの便数を増やす		○			○	
	終バスの時間を遅くする		○			○	
	札幌中心部から遠い地区のバスを増便		○			○	
	冬路線の新設		○			○	
レンタカーの利用	レンタカーを次世代自動車にする	○				○	
	個人カーシェアを普及させる	○				○	
義務化による財源の確保	ガソリン車の車税や価格を上げる	○					○
	自動車をぜいたく品として扱う	○					○
	EV車の補助金を増額する	○					○
	敬老パスなど高齢者も車を使わずに外出できる仕組みを維持する	○	○				○
	車のは入れない地域を作る		○				○
技術の進歩	太陽光発電だけではなく小型の風力発電設備を設置し、そこにEVステーションを建てる。	○				○	
	EV車の充電スポットを充実させる	○				○	
	EVのバッテリーを電池のようにすぐ交換できるようにする	○				○	

5. 参考資料

●移動に関する取組アイデア（E班）

テーマ	発言内容（提案・アイデア）	①自動車の脱炭素化	②公共交通	③行動変容	市民	事業者	札幌市
徒歩の推進	公園や植物園など環境にやさしく家から歩いていける居場所を増やす			○			○
	健康増進の目的で徒歩での外出を推進する			○			○
	歩いてポイントがたまる制度を作る			○			○
自転車の推進	自転車が走りやすい道路にする			○			○
公共交通の推進	子ども向けに公共交通機関を使う練習を行う		○	○	○		
	会社の通勤に公共交通機関を利用することで出勤時間をずらせるなどのメリットを提示する		○	○		○	
	公共交通利用推進のテーマソングを作り、CMなどで生活に普及させる		○	○		○	
	都心部でバスの無人運転		○	○		○	
	車前提のまちづくりになっているので、まずはコンビニなどの駐車場を減らす		○	○		○	○
	スーパーの送迎バスを増やす		○	○		○	
その他	夏は札幌、冬は雪の少ない地域で生活をする			○	○		
	地下街をもっと充実させる			○		○	○
	買い物の回数を週1回に減らす			○	○		

5. 参考資料

●移動に関する取組アイデア（F班）

テーマ	発言内容（提案・アイデア）	①自動車の脱炭素化	②公共交通	③行動変容	市民	事業者	札幌市
EVはエコなのか	本当に電気自動車は環境に良いのか。	○			○		○
	EV車の製造時のCO2排出量はガソリン車の2倍との説もある。	○				○	○
	バッテリーの原材料であるマンガンやコバルトの産出は、発展途上国での劣悪な労働環境のうえで成り立っている。人権侵害や児童労働、環境破壊が生じている。	○				○	
	（EV車を増やす）EV補助金は適切な施策なのだろうか。	○					○
	中国が製造するEVを欧州は規制する方向となった。中国産EVはアジアへと市場を求め、日本にも向かう。つまり、EV補助金は国内自動車メーカーや国内産業を悪化させてしまうことになる。	○				○	○
	化石燃料を燃やしてタービンを回して電気を起こし、その電気でモーターを回してEVは走る。二度手間でエネルギー変換効率が悪いのではないか。	○				○	
	公共交通機関の利用促進の一方で、EV使用を促進するのはCO2排出を増やしてしまう。	○	○				○
水素自動車	水素自動車は良く分からない。安全・安心なのか。	○			○		
EVの課題	冬期間のバッテリーの問題。寒冷地に強いバッテリーが必要。	○				○	
	レンタカーでEVを増やす。料金を安く設定。観光客向け。	○				○	
	充電の無線化（携帯電話の非接触充電のように）	○				○	○
	信号待ちの隙間時間に無線充電されるような仕組み。	○				○	○
自動車利用を減らす	カーシェアリング		○				
	あいのりサービス		○				
	P&R（パークアンドライド）		○				
	市内中心部は自動車の乗り入れを規制し、公共交通で移動する。		○				
	バスも中心部まで入るのではなく、郊外駅で地下鉄に乗り換える交通体系であるべき。		○				○

5. 参考資料

●移動に関する取組アイデア（F班）

テーマ	発言内容（提案・アイデア）	①自動車の脱炭素化	②公共交通	③行動変容	市民	事業者	札幌市
バスの改善	バスを快適に待つため、屋根付きなど停留所の改善が必要。		○			○	○
	夏にはミスト、冬は温風でバス停を快適に。		○			○	○
	（広告付きバス停だけでなく）広告を呼び込む工夫を。乗客は高齢者が多いので、高齢者向けの広告は効果が期待できる。		○			○	
	（えきばすナビはあるが）高齢者などアプリが使えない人にサポートが必要。		○	○	○	○	○
	バス料金を下げないと利用されないのだろうか。		○		○	○	
	バスの運転手不足に対して、定年退職を迎えた自衛官の再就職先としてはどうか。		○			○	
公共交通の利用促進	駅を中心とした周回バス（コミュニティバス）を増やす		○			○	○
	公共交通に転換するためには、バスを充実しなければならないのだろうか。		○			○	○
	例えば週に2～3日公共交通が乗り放題になる「お散歩定期券」のようなものがあるとよい。		○	○		○	○
	滝野などの郊外観光地では、往路はタクシーに乗るが、復路ではタクシーが迎えに来てくれないためバスを使う観光客が多い。往復券があれば、往復ともバスを使うだろう。		○	○		○	
	一人だと公共交通のほうが安いが、家族4人だと車の方が安くなる。家族割のような割引を。		○	○		○	○
	観光客が多いので公共交通の「市民割」を。		○	○		○	○
	（サポート交通における）有償ボランティアの活用		○		○	○	○
	公共交通に乗ること自体に何らかの付加価値を付ける。		○			○	○
	荷物が多いと公共交通は不便。買ったものを届けてくれる宅配サービスの利用を。そのためには宅配ボックスの設置も必要。		○	○	○	○	
自転車利用	ポロクルは市中心部で多いが、もっと郊外へ増設すべき。もともと歩いている方を自転車利用させるのではなく、車を使っている方を自転車利用させるべき。		○			○	○
	レンタサイクルは電動自転車でなく普通の自転車の方がよい。高齢者が乗るには危なく不安。		○			○	○
	自転車通行帯に駐停車があって自転車走行できない。禁止の徹底が必要。		○		○	○	○